えんちょう先生の わくわくだより

NO. 19　10. 28

たのしかったね　秋の遠足　　10／21（金）

ちょっと雲の多い遠足日和。９：１５分に園を出発し駅に向かうこども達の足取りは軽く、明智線に乗っての遠足はとても楽しみだった様です。その日の為にジィーゼルを２両編成にして頂き、ゆったり乗って、秋の風景を楽しむこども達でした。最近の熊の出没の多さに職員は、下見は勿論ですが、笛．リン．ピストルにサスマタ等、準備周到にして出掛けました。イワクラ公園は、こどもの足で駅から２０分位の位置にあり、きれいに草も刈ってあり、芝生の緑が気持いい広場でした。園には無い高いアスレチックや、ぶら下がって滑り降りる乗り物等もあり、こども達は、自分のやってみたい遊びに一目散。中には、先生と一緒に高い山に登り、どんぐりを拾ったり、草むらのバッタ掴みに夢中になる子、斜めのぼたを、前転して滑り降りるスリルを楽しんだり、中には、「ペンギン滑りだよ！」と言いながら両手を体にぴったりくっつけてうつ伏せに滑り降りる子など様々でした。広い草原を走り回り、山への階段を走って昇り降り、いつもの園では体験できない体を使った楽しい遊びが出来ました。特にこども達人気の、滑り降りる遊具の遊びは、「やってみたいけどちょっと恐いなあ」の子もきっといるだろうと、最後には全員の子が乗ってみる様に誘い、手の力の無い子はお尻を支えながら、不安そうな子には「大丈夫、何でもやってみるといいよ」と声を掛けながら全員が体験して来ました。実習生のお兄さんやお姉さんが根気よく、見てくれたね。お昼はお母さんに作って貰ったお弁当を食べるこの日一番の楽しい時間。一緒に食べたい友達のそばで一人ぼっちの子がない様に配慮し楽しく食べました。先に場所を取った年少さんに仲良しがいるのか、そこに混じっていた一人の年長さんもいましたよ。帰りの電車の中では、ちょっと疲れて、眠そうな年少さんの姿も見えましたが、秋の穏やかな一日、自然の中で思いっきり跳びまわり、みんな事故や怪我もなく楽しく遊んで来れてよかったです。周りに随分注意を払い、見回ったり、リンを鳴らしずめだった先生達は、何よりも「熊が出なくてよかったね～」「へびも蜂もいなくてよかった！」と思いました。

１０月の誕生会には畠中先生のザリガニの話を聞きました。

「先生の家には珍しい白いホワイトザリガニがいました」・・から始まった寿里先生の話。ザリガニはみんなが服を着替える様に殻を何度も脱いで（脱皮）大きくなるんだけど、殻を脱いだ柔らかい体に水の中のばい菌や、食べ物の食べ残しがついたりすると、病気になって死んでしまうんだよ。先生家のザリガニの「アラクちゃん」も２年６ヶ月、元気に生きていたのに、脱皮に失敗して死んでしまいました。淋しいなあと思っていると、玄関に小さなカエルが毎日来てくれる様になったんだよ。カエルはいつも同じ所に帰って来るそうです。先生の家には、めだかも飼っていて、目の黒いパンダめだかと青メダカを連れて来たから見てください。先生は生き物が大好きだけど、飼うからには、ちゃんと世話をしてやらないといけないね。この日ザリガニの図鑑を見つけた年少さん、「これを、寿里先生に見せなくちゃあ」「あ、このスズムシの本も見せなくちゃあ」とゆり組に走って行ったと担任の先生が話してくれました。寿里先生は、夏からスズムシも根気よく面倒を見て廊下で飼ってくれています。こどもってよく見ているね。小さな生き物についての興味深いお話を聞いたこども達でした。

写真を見ながらお話を聞きました。

２歳の子も真剣に・・・

年中さん、春に植えた青い苗が秋には実って、お米の収穫！

もみこき、もみすりをみんなで体験、玄米のおにぎりが楽しみ！

五月にはこんな小さな苗だったね

稲から米粒を取り落とし、すりこぎを回しながら籾とり、すり鉢を吹いて、玄米だけにしていきます